登米市立津山小学校　　令和６年１１月２０日　NO.1

コミュニティ・スクール便り

～津山の子供は津山で育てる～

１０月２５日（金）に学校運営協議会主催の講演会（全校児童・教職員・地域の方４名参加）を行いました。この講演会は、教育目標の「まなび続ける」につなげられる取組を考えたとき、昨年度の話合いで出た「北上川改修工事」について親世代も交えて話をできないか、という話題から始まったものでした。（昨年度行った「早寝・早起き・朝ごはん研修会」は、今年度 PTA の体育部で行う予定です。）「低学年には難しいのではないか」等の話も出ましたが、やはり津山の子供たちに知っておいてもらいたい、ということで、以前旧柳津小の時にもお話しいただいた、学校運営協議会の委員でもある佐藤貞光さんに講演をしていただくことにしました。学習参観と同日開催ではなかったので、残念ながら保護者の方からの参加はありませんでしたが、地域の方も参加していただいた中での講演会は、とても貴重なものでした。

演題「移転記念碑が伝える北上川の改修」

講師：学校運営協議会委員　　佐藤　貞光　氏





低学年も真剣にお話を聞いていました。

５・６年には、少し時間を延長して、写真や資料の説明等をしていただきました。



旧柳津小の校歌の意味も教えていただきました。





地域の方々の思いも伝えていただきました。



【児童の感想】

- 昔の小学校を橋の上を引いて移動させたということを聞いて驚いた。
- 町や小学校を移転するなんて、昔の人はすごいなと思った。
- １２４の家が移転したということが知れてよかった。
- 昔は北上川が流れていなかったのがびっくりした。もっと北上川のことを知りたい。
- 自分の地区や他の地区も移転していることが分かった。
- 今、自分たちが住んでいる地区が、北上川改修で大変な思いをしていたことが分かった。
- 北上川のことを知れてよかった。
- 北上川を新しくするなんて、昔の人はすごいなと思った。
- 旧柳津小学校の校歌の「花の柳津」の意味が分かった。
- 松尾芭蕉や吉田松陰が北上川を通ってこちらの方まで来ていたことがすごいと思った。
- 新しい北上川を作るために、柳津の町を移転したことが分かった。

【地域の方の感想】

- 父が晩酌をしながら、中国に渡ったときのいろいろな思い出話や移転したときの話をしていたことを思い出して、懐かしく聞いた。
- 昔、移転してきた小学生は「移転児」と呼ばれた。北上川の改修を見ていた人は、現時点で３人ぐらいいる。その当時の話を聞くと、ものすごい音がしたということだった。（移転した地区の現在の児童数を知って）移転がなかったら、子供たちも、もっと多かったかもしれないので残念。（講師の）佐藤さんはいろいろなことを知っているので、機会があったらもっといろいろな話を聞いてみてほしい。

【講演会後の話合いから】

- 難しい内容を分かりやすく説明していただいた。
- 仕事内容にも触れていただいたので、将来につながる内容となったのではないか。
- 北上川等、地域教材を各教科等の中で、関連する箇所で取り入れられたらよいと思う。
- 地域のことを先生方にも知ってほしい。

この日は、北上川土手沿いのごみ拾いや校庭植え込みの整備と除草など、児童と一緒に「クリーン作戦」も行いました。





【令和６年度　津山小学校　学校運営協議会　委員の皆様】